

「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者について（お知らせ）

平成19年4月17日（火）
環境省自然環境局総務課
自然ふれあい推進室
室長 岡本 光之（内線6419）
室長補佐 廣瀬 勇二（内線6421）
担当 中村 達也（内線6422）

環境省は、4月25日（水）に新宿御苑（東京都新宿区）において、自然環境の保全に関して顕著な功績があった者（又は団体）の功績を讃えるため、自然環境功労者として環境大臣表彰を行うこととしています。

本年は、各部門計41件の個人・団体が選ばれました。

1. 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰について

自然環境の保全に関し、顕著な功績があった方を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、平成11年度から毎年表彰を行っています。

（1）受賞者数 41件（別紙）

（2）表彰式 日時：平成19年4月25日（水）14：00～14：30

場所：新宿御苑（インフォメーションセンター）

（3）表彰の対象分野

① 保全活動部門（19件）

貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者等

② いきもの環境づくり・みどり部門（5件）

地域における野鳥や小動物の生息環境の創出、あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者（事業者、学校等を含む）

③ 自然ふれあい部門（12件）

自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者等

④ 調査・学術研究部門（5件）

自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する調査、研究で顕著な功績がある者等

※各部門の受賞者の氏名・功績については、別紙参照。

平成19年度「みどりの日」自然環境功労者表彰
環境大臣表彰受賞者一覧

受賞者数41件(個人:13、団体28)

保全活動部門(19件)

	受賞者	功績概要
1	いずみさわみねお 泉澤 岑夫 (岩手県)	早池峰山の景観の維持、動植物等の保護のために延べ2,267回以上のパトロールを行い、ゴミ拾い、利用者指導、高山植生の保護、登山者マナー向上などの自然環境保全に尽力。
2	あかぎひめ あい あつ 赤城姫を愛する集まり (群馬県)	ヒメギフチョウ(愛称:赤城姫)の保護・調査・学習・研究・広報などの各活動を、地元の人々をはじめ小学校、高校と連携して取り組むほか、広く里山の環境保全活動にも尽力。
3	とくていひ えいり かっとうほうじん 特定非営利活動法人 くろはまめましゅうん しぜん た 黒浜沼周辺の自然を大 いせつ 切にする会 (埼玉県)	埼玉県自然環境保全地域にされている黒浜沼の水質調査、魚類調査、周辺の湿地景観の維持、植生保護活動、自然観察会など、永年にわたる環境保全活動を通じて、絶滅が危惧される貴重な動植物を保護するとともに、黒浜沼周辺の生物多様性の保全に尽力。
4	さかがわ せいりゅうと もど かい 坂川に清流を取り戻す会 (千葉県)	地域の主婦が、家庭でできる浄化対策の啓発推進を目指し、河川清掃実施のほか坂川をフィールドにした児童・生徒の自然観察会などを通じて自然保護思想の普及啓発と環境保全活動に尽力。
5	まきはたやま けいあん ほ ぜん 巻機山 景観保全 ボランティアーズ (新潟県)	魚沼連峰県立自然公園内巻機山において、高山帯の植生保護・復元、池塘復元、登山道整備や補修等多岐にわたって展開。特に植生復元は、6通りに及ぶ技術を開発し成果を上げるほか、他山岳地へも技術指導という形で普及。荒廃状況が改善し、本来の景観に戻りつつあり、永年にわたり植生復元・保全に尽力。
6	て づか むね やす 手塚 宗求 (長野県)	永年にわたり、冬も含めた霧ヶ峰全体の環境保護・湿原地帯の保全、自然(すずらん)とのふれあいの呼び掛けや、小学生らとの湿原保全活動など自然保護の普及・啓発に尽力。
7	かめはめ おうこく カメハメハ王国 (静岡県)	産卵のために相良海岸に上陸する絶滅危惧Ⅱ類のアカウミガメの調査、保護活動、海岸清掃、堆砂垣設置、海岸定点撮影等の海浜保全・調査事業、講演会、子供達を集めての環境塾などの啓発事業などに尽力。
8	やまかどすいげん もり つぎ せ 山門水源の森を次の世 だい ひ つ かい 代に引き継ぐ会 (滋賀県)	永年にわたり、湿原の植生復元や陸地化防止のための灌木・下草の除去、周辺の里山整備、希少野生動植物の生息・生育調査等による保全活動に取り組むとともに、湿原入り口にミニピオトープを設置し、環境教育・環境学習を行うなど、自然保護思想の普及・啓発に尽力。
9	さとやまかつどうだんたいゆうりんかい 里山活動団体遊林会 (滋賀県)	市内に残された荒れ果てた里山を自主的なボランティアによる保全活動で蘇らせ、市民の憩いの場、子ども達が森林を使って学べる場として体制を整備。学生や企業が里山保全体験や環境ボランティアを体験する場、環境教育の場としての整備に尽力。
10	ざいだんほうじん 財団法人 おおのじょう緑のトラ きょうかい スト協会 (福岡県)	里山の保全や荒廃した森林の再生を行い、市民の憩いの場、学校や様々な団体の環境学習の場として整備。自然観察会や炭焼き体験など、誰もが楽しく自然に親しむことができる活動を実施し、多くの市民に自然保護の普及啓発を行い、自らの保全活動とともに勉強会の開催、ボランティアの人材育成にも尽力。
11	にしの まさよし 西野 正義 (茨城県)	茨城県版レッドデータブック作成と野鳥保護思想の普及啓発と生息環境の保全を行うとともに各自然保護団体の役員を永く努め発展に尽くし、自然観察会、各種調査、公共機関の委員会等での自然保護思想の普及啓発に尽力。

12	ニホンヤマネ ^{ほごけんきゅう} 保護研究グループ (山梨県)	ニホンヤマネの生態を、国内外の研究者と協働で総合的研究により明確にし、環境保全施策の提案を実施。展示物と環境教育プログラムの提供も行う。道路により分断された森をヤマネが移動できる世界初の「ヤマネブリッジ」を設置し、ヤマネなどの小動物の利用を確認。その成果には諸外国も注目しており研究と保全活動に尽力。
13	つのかわさと しぜんかんきょう 角川里の自然環境 がっこう 学校 (山形県)	集落住民主導により、地域の自然環境・文化を自ら調査発見し、山の学校など6部門を中心に活動を展開し、子ども達への学習活動、新たな産品開発や環境保全型農業による地域経済活性化に向け、農業を主体とした自然環境保全に尽力。
14	しんりんじゅくせいすい 森林塾青水 (群馬県)	都市部を中心としたボランティア組織。地元住民や行政と連携し、先人や古老の知恵に学びながら里山の生態系や景観の保全、奥山集落全体のエコミュージアム化による活性化等に尽力。
15	さとやま 里山ネットワーク世屋 (京都府)	独自活動をしてきた住民を繋ぎ、ネットワークを形成し、棚田での無農薬米栽培と酢醸造、地元材を活用した建築、「原始布」と呼ばれる伝統の藤蓑を利用した藤織り、ササ葺き民家の復元、生物や民族の調査、体験活動等を企画し、世屋独自の伝統的な集落・棚田等文化の残る里地里山景観保全の維持・復元に尽力。
16	もりた とおる 盛田 徹 (北海道)	自宅に小規模ながらリハビリ施設を作り、ボランティアで野生動物(主に野鳥)の救護活動を続け、貨物船座礁事故などでは海鳥救護にも参加するなど、幅広く野鳥等の保護活動に尽力。
17	かぶしきがいのしゃ さつぽろ かいほつ 株式会社 札幌リゾート開発 こうしゃ 公社 (北海道)	開業1年後から電気自動車を導入し、支笏洞爺国立公園の豊平峡ダム入り口から豊平峡園地までの自然環境に優れた地域を運行するほか、定山溪温泉からのシャトルバスもハイブリッドバスにより運行し、永年にわたり地域の自然環境保全に尽力。
18	おか やま たん すい ぎょ けん きゅう かい 岡山淡水魚研究会 (岡山県)	アユモドキ・スイゲンゼニタナゴ等の淡水魚類の調査を実施し、アユモドキの天然記念物指定に尽力。アユモドキの2箇所の産卵場所の発見、観察会などの普及啓発活動、外来魚の駆除、水路改修工事に伴う魚類の救出活動など希少淡水魚類の保護を核とした環境保全に尽力。
19	とっとりけん せいぶきしょう やせいしよくぶつ 鳥取県 西部希少野生植物 ほぜんちょう さけんきゅうかい 保全調査 研究会 (鳥取県)	大山隠岐国立公園内において、草原の自然再生を目指した草原保全管理事業に必要なボランティア団体として協力するとともに、絶滅危惧Ⅱ類のサクラソウを始め各種絶滅危惧種の保全管理事業を県内にて展開し、希少野生動植物の保全についての普及啓発や人材育成に尽力。

自然ふれあい部門(12件)

	受賞者	功績概要
25	てんえいそんりつ まきもと しょうがっこう 天栄村立牧本小学校 (福島県)	永年にわたる学校林事業や森林教室を通じ、森林のもつ経済的、公益的機能を学び、自然とふれあい、共生する各種活動を実施。身近な自然環境にも目を向けるようになり、自然を大切に作る心が育まれ、栽培活動や農園活動など、自然とのふれあいを通じての環境保全に貢献。
26	しりつかみごうしょうがっこう つくば市立上郷小学校 (茨城県)	環境教育の一環としてピオトープ講習会を行い、校内のピオトープにアサザを植え、繁殖させたアサザを霞ヶ浦浄化に役立てるほか、オオムラサキの飼育・観察、放蝶会など自然とふれあう教育・体験を継続的に実施し、学校での環境教育の取組みを地域に広げ浸透しつつあるなど、自然保護思想の普及・啓発に尽力。
27	わたなべともよし 渡邊 知義 (栃木県)	永年にわたり野鳥の調査・普及啓発、ムカシトンボ、オオムラサキ等の調査研究の指導を行うとともに、広報誌や自然観察会等を通じた県内での自然保護思想の普及啓発に尽力。
28	そや てつお 征矢 哲雄 (長野県)	永年にわたり、自然環境に対する意識啓発のための環境学習を推進し、小学生らとともに植樹及び湿原の保全活動を実践し、ミヤマシロチョウ保護のための生息分布調査や湿原保全等、地域の自然環境保全に尽力。
29	みねやまながおか みどりしょうねんだん 峰山・長岡 緑の少年団 (京都府)	核家族化、特に高齢化問題が進む丹後の山村地域において、キャンプや農作業等の野外活動、自然観察会や水生生物調査等の学習活動、植樹や環境美化活動等の奉仕活動、高齢者との山登り体験を実施し、高齢者と子供達がともに自然とふれあう機会を提供し、子供達の健全な育成に貢献。
30	ながさきホテルの会 (長崎県)	ホテル飛翔復活のために、河川の環境調査や幼虫の放流、飛翔状況調査等を実施。さらに小中学校へのホテルの生態、保護のための方策など自然環境保全や河川愛護に関する出前講座を実施するなど、活動及び環境保全活動に貢献。
31	であいねつとわーく ともだち (大分県)	杵築市守江湾に注ぐ八坂川の干潟に生息する希少野生生物に注目し、数多くの自然観察会(企画・運営を中高生に任せる)や出前講座を開催し、杵築の自然環境のすばらしさ、希少さを伝え、干潟の保全に関する普及・啓発に尽力。
32	いずはらたけし 泉原 猛 (愛媛県)	永年にわたり自然観察会や講演会などを通じ、主に野鳥の保護に関する知識・意識の啓発活動を行い、幅広い年代層への自然環境保全の普及啓発に尽力。
33	たかぎ としお 高木 俊夫 (京都府)	自然教育普及を目指す有志が集り設立された「京都自然観察学習会」の当初からの中心メンバーで活躍するとともに、京都御苑で開催される自然教室の植物担当の講師として永年にわたり協力するなど、京都御苑の自然現況調査やガイドブックの作成等自然保護思想の普及に尽力。
34	とくていひ えいり かつどうほうじん 特定非営利活動法人 いわき さんし ぜんがっこう 岩木山自然学校 (青森県)	白神山地周辺の自然及び環境を活かし、自然体験教育及び環境教育を実施。環境関連機関、教育機関の実践的指導者の養成講座も開催し、数多くの自然環境教育指導者の育成などに貢献。
35	はこね ボランティア かいせつじん 箱根 ボランティア 解説員 れんらくかい 連絡会 (神奈川県)	箱根地域で、自然に親しむ自然観察会での講師を会として担当したり、連絡会独自で企画した自然観察会の実施、箱根の自然の紹介や環境学習を実施するなど、年間を通し様々な人々を対象にした自然解説活動、自然環境教育活動などに尽力。
36	いしかわけんし ぜんかいせつじん けんきゅう 石川県自然解説員 研究会 うかい 会 (石川県)	夏季は白山室堂及び南竜ヶ馬場に常駐し、白山登山者への自然解説を行い、その際に登山者にゴミ拾いを呼びかけるなど、自然とのふれあい活動や自然保護思想の普及啓発及び適正な利用者指導などに尽力。

いきもの環境づくり・みどり部門(5件)

	受賞者	功績概要
20	みどりたんけんたい 緑の探検隊 (北海道)	自然観察学習会、旭川駅周辺の樹木現況調査などの自然保護思想の啓発を行うとともに、行政機関に対する街路樹整備の提言、地域の水質・動植物調査の実施、河川工事の際の希少種調査や移植作業協力など地域の自然環境保全に尽力。
21	すずき えいじ 鈴木 英二 (福島県)	永年にわたり、町内各地の桜並木の枯れ枝除去、枯死木の補植等を行い、町のシンボルである桜並木等の保全(植樹は約2,000本)及び観察会の実施等の啓発に多大な尽力。
22	ひめじしりつ べっしょしょうがっこう 姫路市立 別所 小学校 (兵庫県)	絶滅危惧Ⅱ類である「オニバス」を保護するため、児童たち自らがビオトープ池を設計し、地元の人々の協力を得て校内に整備し守り育てている。また、周辺のため池を守るために、地域の人々とため池クリーンキャンペーンを実施するなど、いきものの生息環境づくりに尽力。
23	とのしょうちょうりつふちざきしょうがっこう 土庄 町立 淵崎 小学校 (香川県)	永年にわたり、愛鳥活動、植樹及び下草刈り活動、ビオトープ整備、花いっぱい活動など環境教育の実践を通じて、地域の野鳥や小動物の生息環境の創出に尽力。
24	ちばこうさいどう 千葉廣済堂カントリー倶楽部 (千葉県)	永年にわたり、学校、公園、福祉施設など公共施設の緑化植樹、松くい虫防除対策、芝による校庭緑化研究の支援、絶滅の危機に瀕する動植物保護、普及啓発など、みどりの自然環境創出に貢献。

調査・学術研究部門(5件)

	受賞者	功績概要
37	みやざき こうじ 宮崎 光二 (石川県)	両生類相の調査研究を行い、ホクリクサンショウウオの新種記載を行うとともに、石川県両生爬虫類研究会を組織して、自然環境調査(両生・爬虫類)を実施し、国内希少野生動植物種のアベサンショウウオの生態調査と保全活動を実施するなど、永年にわたり、両生類の調査研究、普及啓発に尽力し、地域の自然環境保全に貢献。
38	いしかわ かい 石川きのこ会 (石川県)	キノコの調査研究を行い、石川県の自然環境シリーズ『石川県のキノコ』作成にあたり、調査・編集を担当するほか、現在も里山、ブナ帯、高山・亜高山帯のキノコ相の調査を継続。特に、高山帯でのキノコ相の調査は、他の道県ではほとんど実施されておらず、全国から注目を受けるなど、調査研究及び自然保護思想の普及啓発に尽力。
39	おおひら ひとお 大平 仁夫 (愛知県)	昆虫類(特にコメツクムシ類)の発見、研究に関しては世界的な業績を残すとともに研究を活かした保護活動に尽力。また永年にわたり、市民や子どもたちを対象とした湿地観察会、自然環境学習会の講師として環境保護の重要性を啓発するとともに、自然保護活動者及び活動団体への指導、支援にも尽力。
40	わたなべ やすあき 渡辺 泰明 (東京都)	昆虫学の専門家として、永年にわたり調査研究を続け、鞘翅学会のメンバーとして日本の甲虫学研究をリードしつつ、調査研究と平行し、教育機関における後進の育成に尽力。自然環境保全基礎調査動物分布調査(昆虫類)において、永年にわたり有意義な助言をいただくなど、昆虫類の分布の現状把握に大きく貢献。
41	さいとう かずお 斎藤 員郎 (山形県)	植物群落学の専門家として、永年にわたり調査研究を続ける一方、教育機関においても後進の育成を行うほか、自然環境保全基礎調査の植生調査において、永年にわたり有意義な助言のほか、植生図の作成にあたっては地域の植生に詳しい専門家として尽力。